

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 484 事業名 コンベンション推進事業（各種学会、大会の誘致活動）

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	3	観光の振興
施策	2	観光客の誘致
取組	2	広域観光の推進

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	H16 ~		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	観光課	市川 雅章 (435-1234)	
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
大	事業		観光振興事業	
事	項		コンベンション推進事業	

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
			○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	コンベンションへの参加者の宿泊増加を図り、観光リピーターの創出を図る。	「学会」「会議」「各種の大会」「見本市」等の催しに参加し、和歌山市の宿泊施設に宿泊する参加者の延べ人数が51人以上のコンベンションの主催者に対し補助する。限度額1,000千円。和歌山市、和歌山市観光協会ホームページにてPRするとともに、観光情報発信事業で掲出するポスター等にも掲載している。ポスター配布先は観光情報発信事業と同じです。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		○誘致件数=49 ○参加者数=32,471 ○宿泊者数=22,142	○誘致件数=30 ○参加者数=22,650 ○宿泊者数=11,075	○誘致件数=35 ○参加者数=20,482 ○宿泊者数=11,784	○誘致件数=38 ○参加者数=18,978 ○宿泊者数=10,305	

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	23,388	22,162	13,721	12,944	13,388	14,895	13,388	13,388	15,388	
伸び率 (%)	-	-	-41.3%		-2.4%		0.0%		14.9%	
人件費	常勤職員	3,575	5,079	3,575	4,939	6,026	6,159	6,026	6,259	6,259
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3,575	5,079	3,575	4,939	6,026	6,159	6,026	6,259	6,259
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	23,388	22,162	13,721	12,944	13,388	14,895	13,388	13,388	15,388	
所要人数	常勤職員	0.45	0.66	0.45	0.66	0.8	0.82	0.8	0.84	0.84
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
主な予算内訳	第30回オリンピック協議会フェンシング協議アジア・オセアニア地区最終選考会及び2012年アジアフェンシング選手権大会1,000,000円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	大会開催回数					年度目標値	50	35	35	35
						実績値	49	30	35	38
	単位	全体目標値	35	全体目標達成度	年度別達成度	98.0%	85.7%	100.0%	108.6%	
						年度目標値				
成果指標	宿泊者数					年度目標値	22,000	13,000	13,000	13,000
						実績値	22,142	11,075	11,784	10,305
	単位	人	全体目標値	13000	全体目標達成度	年度別達成度	100.7%	85.2%	90.7%	79.3%
						年度目標値	25,000	25,000	25,000	25,000
大会参加者数					実績値	32,471	22,650	20,482	18,978	
	人	全体目標値	25000	全体目標達成度	年度別達成度	129.9%	90.6%	81.9%	75.9%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性(担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山市でコンベンションを開催しようとする者を支援することにより、市内での宿泊者の増加に寄与しているので、今後も引き続き行うべき事業とする。
「見直し」「改善」案 ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載	